

旅する昆虫

ある秋の日の昼下がりに。いつもの電車に乗って帰宅途中、座っているシートの下に大きな昆虫がくっついていてのを見つけました。



これはキマダラカメムシです。

最近、街路樹や公園の木々でよく見かける、カメムシの仲間です。
どうして、昆虫が電車に乗り込んでいるのでしょうか？

それには、昆虫のある性質が関係していると考えられます。多くの昆虫は、光がやってくる方向に向かって飛んでいく、正の走光性とよばれる性質を持っています。夜、駅に入ってきた電車が扉を開けた時に、車内の照明に誘われて乗り込んできたと考えられます。



この昆虫はホタルガとよばれる蛾の一種です。ずいぶん前ですが、帰りの通勤電車で見かけました。

この写真に見られるように、蛾の仲間なども、夜、照明に集まってくることはみなさんもお存知ですね。こうして入り込んだキマダラカメムシが、朝になっても車内から脱出できずに残っていたのかもしれません。

または、人が持ち込んだ荷物にくっついて、車内に乗り込んだのかもしれません。

このように、昆虫などが交通機関や物流といった人の活動によって他の地域に移動することはよくあることなのではないかと考えられます。

さて、このキマダラカメムシやホタルガたちの運命はどうなったのでしょうか。